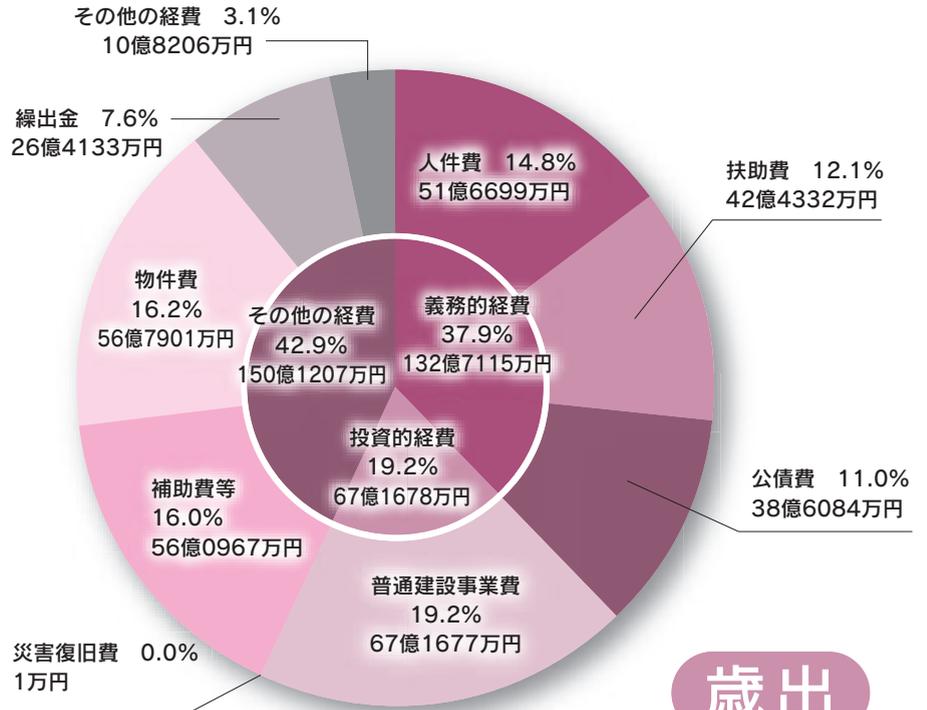


平成29年度 一般会計予算 350 4年連続増額 「おおたわら

「少子化・高齢化対策」に傾注
婚活、出会い事業、子育て環境整備、高齢者の社会参加など

平成29年度一般会計の当初予算額は、子育て支援から障害者、高齢者福祉に至るまでの行政需要の増加に対応すると共に、新庁舎建設事業の本格的工事着手や小学校改築事業、道路改良事業など大規模建設事業のピークの年であることから、前年度と比較して、4億円、1.2%増の350億円となり、新大田原市発足以降、最高額の予算規模となりました。

予算審査特別委員会では、議案第2号から議案第10号までの9議案について、原案のとおり可決いたしました。



※1万円未満を端数処理しているため、実際の数値と異なることがあります。

歳出

歳出

歳出について、人件費は前年度比1億2510万6千円、2.5%増の51億6698万7千円となりましたが、扶助費は前年度比5298万4千円、1.2%減の4332万5千円、公債費は前年度比1億6820万1千円、4.2%減の3億6083万8千円となり、義務的経費全体では前年度より約1億円減少しました。

投資的経費である普通建設事業費は、前年度比11億9445万4千円、21.6%増の67億1676万8千円と大幅な増額となりました。内訳は補助事業費が前年度比14億5493万5千円、31.7%減の31億3908万4千円と大きく

減額となる一方で、単独事業費は前年度比26億4938万9千円、285.4%増の35億7768万4千円と大幅な増額となっています。

歳出の主な事業や新規事業としては、市庁舎復興再整備事業、道の駅那須与一の郷調整池改修事業、3・3・2号大田原野崎線道路改良事業や地方創生道整備推進交付金事業などによる市道整備工事、練貫地区の圃場整備事業と併せて実施する住宅分譲地事業、認定こども園や小規模保育施設等への給付費補助、こども医療費や各種予防接種費用の助成、子宮頸がんのHPV-DNA併用検診の実施、安心生活見守り事業、消防団員用防火衣の購入等などがあります。

■ 当初予算の推移

